



発行者 一般社団法人 群馬県手をつなぐ育成会
会長 江村 恵子

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター 5 F
TEL 027-255-6212・FAX 027-255-6241
印刷所 朝日印刷工業(株) ☎ 027-251-1212

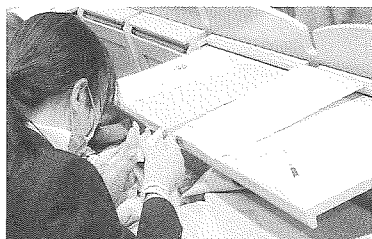
知的障害への理解促進 セミナーを開催しました

令和七年一月二十日(月)、県社会福祉総合センター八階大ホールで、「知的障害への理解促進セミナー」を開催しました。講師は、兵庫県たつの市手をつなぐ育成会(啓発キャラバン隊ぴーす&ピース)代表の矢野一隆氏にお願いし、「知ってほしいなあ!わたしたちのこと」と題し、疑似体験を含め、参加者に障害への理解を深めてもらうことをねらいにしました。

矢野さんは、全国各地で三百回以上、こうしたセミナーをやっているそうですが、今回はリモートで、兵庫県のご自宅と前橋の会場をインターネットでつなぎ、パソコンとスクリーン越しの進行となり、いつもとやや勝手が違ったかもしれませんが、柔らかな口調でユーモアたっぷりにお話しいただき、会場の雰囲気も終始なごやかなものでした。

参加者は合わせて六十六名で、ふだん障害のある方とあまり接していない若い学生の方にも大勢参加してもらい、育成会の支部の方や民生委員さんたちと二人一組になり、講師の指示により絵を描いたり、クイズに答えたり、軍手をはめてお札を数えたりと、いろいろな作業や体験をしてもらいました。

参加者からは、「具体的なものは絵に描けるが、抽象的なことは絵に描きにくい」「『ちゃんと』とか『ちよつと』とか曖昧な言葉は伝わりにくいくことがわかった」といった感想が寄せられ、今後は、もっと具体的に分



作業体験をする参加者



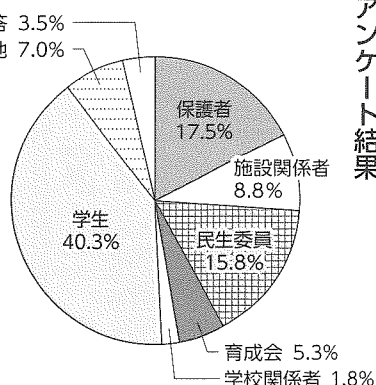
講師の矢野一隆氏



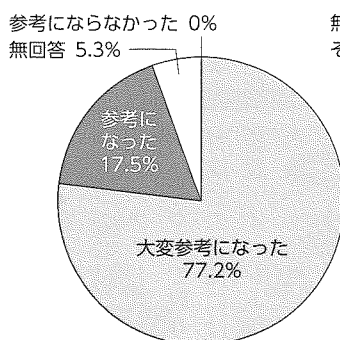
○アンケート結果

かりやすく伝えるため、今回学んだ知識を活かしていきたいといった声も聞かれました。

〈参加者の属性〉



〈講演の内容について〉



○主な意見・感想

- ・体験型の研修で参考になった。
- ・講師の語りが身に染みた。
- ・抽象的な声かけは注意しなくてはと想った。
- ・優しい声かけが大事だと分かった。
- ・「障害」と「個性」の境について知りたい。

支部活動報告 ぐんまペアレントメンターの会

群馬県手をつなぐ育成会の皆様、日頃からお世話になっております。ぐんまペアレントメンターの会会長の江原と申します。

ぐんまペアレントメンターの会（以下「メンターの会」と略します）が、令和五年六月に群馬県手をつなぐ育成会（以下「育成会」と略します）に新規加入させていただき活動を始めて、早いもので一年半以上が経ちました。

江村会長をはじめ、育成会の皆様の強力な後押しを受け、メンターの会はペアレントメンター事業の県事業化を目指して活動して参りました。お陰様で昨年十月から、群馬県からの委託を受けてペアレントメンター事業を県事業として開始することができました。たくさんの方々にお力添えをいただいた賜物と感謝申し上げます。

メンターの会では、群馬県児童福祉課、群馬県発達障害者支援センターと協働して「群馬県ペアレントメンター養成研修」を昨年十一月から十二月にかけて開講しました。養成研修開講に当たり、かねてよりメンターの会と協力関係にある県内九つの発達障害児者支援団体・親の会から、会員の保護者をそれぞれ推薦

していただきました。推薦された保護者の方々は、ご自身の発達障害児の子育てと並行して、発達支援の活動経験も十分に積まれた素晴らしい顔ぶれでした。メンターに適任な方々の二日間にわたる養成研修修了と同時に、三十名の「群馬県ペアレントメンター」の登録が実現しました。やつとここまで来たという達成感がいよいよこれからだという期待感が交差して、高揚した瞬間でした。

メンターの会では、養成研修の実施のほかにも、「群馬県ペアレントメンター」の派遣要請受付、派遣先とのコーディネートと派遣実施、派遣後のフォローアップなど、事業全体にわたる県事業委託を受けています。メンター登録後は、早速メンター派遣に向けて忙しく動き出しました。

事業開始年度の今年度は、県内の発達障害児者支援団体・親の会や小学校PTAなど三団体から派遣要請を受け、延べ十二名の群馬県ペアレントメンター派遣を実施しました。

派遣先では、発達特性のある小学生・高校生を子育て中の保護者の方々とグループ相談において、ペアレントメンターが同じ親目線での傾聴と共感を主体とした「親による親支援」を行いました。「私も同じような経験をしました」「皆さんと同じように、私もたく

さん悩みましたねえ」

などと、子育て中の親御さんに寄り添い共感しつつ、各メンター自身の子育てで活用してきた特別支援教育や医療・福祉サービスなどの地域リソースの紹介や、学校の先生方など支援者との関わり方のコツなど、様々なお話をさせていただきました。ご参加いただいた保護者の皆様の日々の子育ての参考にさせていただくとともに、各メンターのこやかで温かい雰囲気から勇気や希望を感じていただけたらと思います。ペアレントメンター事業を通して各メンターから伝えたいのは「ひとりじゃない」という想いなのです。

発達障害児の子育てでは、お子さんの発達特性に由来する言動を、「家庭教育が不十分!」「親が責任を果たしていない!」などと誤解され、非難されることがよく起こります。発達障害児のいる家庭が地域から孤立してしまうことが大きな社会問題となっています。各メンターが発達支援活動にも関わり、孤立を乗り越えて子育てに邁進してき

たからこそ、ペアレントメンター事業にしかない得ない高い共感性を提供できると自負しております。

今年度は、以前からメンターの会の動向に注目してくださっていた団体からの派遣要請がメインでしたが、事業二年目の来年度には、まだペアレントメンター事業の開始をご存知ない団体や、こども発達支援センターなどの行政機関などへのメンター派遣も視野に入れて、事業展開していきたいと考えています。

今後も、メンターの会は、県内全域でのペアレントメンター事業の継続的な実施に向けて全力で取り組んで参ります。育成会の皆様には、各地域の団体・施設・イベント等の情報をメンターの会へお寄せいただくなど、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ぐんまペアレントメンターの会

「ペアレントメンター」は、発達障害児者やその家族が子育て中の困難を乗り越えるためのサポート役です。ペアレントメンターは、発達障害児者やその家族の悩みや不安を聞き取り、同じ親目線での傾聴と共感を主体とした「親による親支援」を行います。

ぐんまペアレントメンターの会では、発達障害児者やその家族の悩みや不安を聞き取り、同じ親目線での傾聴と共感を主体とした「親による親支援」を行います。

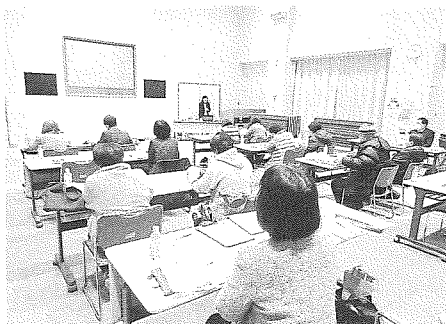
ぐんまペアレントメンターの会では、発達障害児者やその家族の悩みや不安を聞き取り、同じ親目線での傾聴と共感を主体とした「親による親支援」を行います。

ペアレントメンターとは？

メンターとは「経験者から経験者へ」といいます。ペアレントメンターは、発達障害児者やその家族の悩みや不安を聞き取り、同じ親目線での傾聴と共感を主体とした「親による親支援」を行います。

ペアレントメンターは、発達障害児者やその家族の悩みや不安を聞き取り、同じ親目線での傾聴と共感を主体とした「親による親支援」を行います。

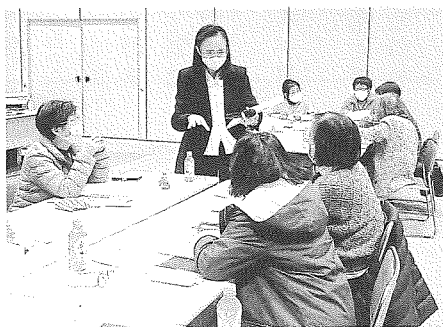
ペアレントメンターは、発達障害児者やその家族の悩みや不安を聞き取り、同じ親目線での傾聴と共感を主体とした「親による親支援」を行います。



令和七年二月十四日（金）、太田市藪塚本町文化センターカルトピアで、太田市藪塚本町手をつなぐ育成会主催の「あんしんノートを書く会」が開催されました。講師・アドバイザーは県育成会の江村会長がつとめ、会員十六名の方が参加しました。講師から「あんしんノート」の必要性と使い方の説明があったあと、実際に記入体験をし、その後、グループに分かれて意見交換を行いました。参加者からは「同じ思いを持っている方と話す機会が持てて良かった」、「先のことはな

親なきあと相談会 あんしんノート説明会を開催

藪塚本町・沼田市



○主な意見・感想

- ・同じ思いをしている人がほかにもたくさんいることが分かり、講師のアドバイスが参考になった。
- ・グループワークでいろいろな話が聞けてよかった。
- ・あんしんノートを書いておくことの大切さを思いました。
- ・本人、親ともに年齢を重ねていく中で、体力的気力的にも自信が持てなくなっているところ。講師の話が心にずしんときました。

かなが考えられないが思い立ったときに始められるようにしたい」となどといった感想が寄せられました。

てなくなっているところ。講師の話が心にずしんときました。

また、令和七年二月二十五日（火）、

沼田市保健福祉センター多目的ホールで、沼田市心身障害者育成会主催の「あんしんノート講演会」が開催され、沼田市と利根郡内町村の育成会・親の会会員、民生委員、施設職員など二十三名の方が参加しました。講師は県育成会の江村会長で、あんしんノートの説明のほか、グループに分かれてグループワークも行いました。



一般社団法人
全国手をつなぐ育成会連合会の
会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(国保連合会提携)

障がいのある方とそのご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？^(※)

(※) ぜんち共済のホームページより

久保会長とぜんち共済社長の板本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください！

動画はこちらから
<https://youtu.be/MU8sw5liByk>

特長1
代理手続き
代理告知が可能
障がいのある方向け
プラン

特長2
告知対象
疾患の緩和
障がいのある方向け
プラン

特長3
“親なきあと”に
備える補償
障がいのある方
の家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は国保連合生活保険のブランド名です。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先（取扱代理店）に資料請求を
お待ちしております。

【お問い合わせ先（取扱代理店）】
・**ぜんち共済株式会社**
〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
0120-322-150
TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851
URL: <http://www.z-kyosai.com/>
MAIL: gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日10:00～16:00 (土日・祝日・年末年始を除く))

たった1分
スマホでカンタン資料請求
QRコードは「LINE」アプリの
「QRコード」から読み取れます

【代理店（保険会社）】
東京海上日動火災保険株式会社
公務第一東海公和
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00～17:00)

2022年3月作成 22-TC00035

